



開成学園排球部 OB 会  
会報 第 26 号

## 1.総務関係活動報告および活動予定

- 平成 18 年 4 月 第 24 回開成・麻布定期戦開催（当番校：開成）  
☆総合優勝☆ 開成（2 連覇達成 通算 15 勝 9 敗）  
5 月 年度幹事会開催  
6 月 OB 総会開催（17 日）  
8 月 会報・名簿発行  
11 月 開成・麻布合同創部 60 周年祝賀会（18 日）
- 平成 19 年 4 月 第 25 回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）  
☆総合優勝☆ 開成（3 連覇達成 通算 16 勝 9 敗）  
5 月 年度幹事会開催  
6 月 OB 総会開催（30 日）  
8 月 会報発行予定
- 平成 20 年 4 月 第 26 回 開成・麻布定期戦開催（当番校：開成）  
5 月 年度幹事会開催予定  
6 月 OB 総会開催予定  
8 月 会報発行予定

### \*麻布開成バレーボール部創部 60 周年記念祝賀会報告（文責：H8 宮 利政）

昨年の 11 月 18 日、九段の九段会館にて麻布・開成両バレー部の創部 60 周年を祝う会が催された。参加 OB は幅広く、上は草創期の OB からつい今年の 3 月までは学生だった者まで、総勢 150 名ほどが一堂に会した。

今回の目玉はなんといっても両校の校章が刺繍されたポロシャツであろう。紺色のシャツに金色の校章がまぶしい。背中には両校の名前がローマ字で納まっている。これは開成 OB の田中さん（S43 年卒）が中国の生産工場から直接買い付けてくれたもので、高品質低コストの代物だ。

祝賀会は麻布の鳥越先生、開成の栗原先生ら顧問の挨拶、そして故中村先生の奥様からの挨拶という流れで始まった。円卓を囲んでの立食パーティーであったが、テーブルには「〇年～△年」という札が立てられ、同じ時期を生徒として過ごした仲間同士が学校の垣根を越えて語らえるよう、にくい演出がされていた。

お酒が進むにつれて昔のことが鮮明に蘇り、ネットをはさんで戦っていた頃の話や、恐い先輩（個人名は名誉のために控えるが）に合宿でどんなに理不尽にしごかれたかなど、昔話に花を咲かせていた。式次第には両校の出席者名、現在の勤務先などが書いてあり、若い OB の中にはそれを頼りに先輩に話を聞きに行く者もいたが、これもまた OB 会の大きな魅力の一つであろう。

会の半ばには小川さん（S45 年卒）の奥様率いるグループによるフラダンスのイベントも行われ、男ばかりの OB 会に花を添えた。会も終盤に差し掛かると、卒業年度を越えた輪があちらこちらにできあがり、学校も年齢も超えたバレー部 OB としての盛り上がりは最高潮に達した。最後はエールの交換を行い、記念撮影をしてお開きとなった。散会後も両校そろって夜の定期戦をすべく、二次会へと連れ立っていった。

今回の祝う会を終えて、定期戦後の懇親会で出た話が、俄に現実味を帯びて実現してしまったことに、麻布・開成バレーボール部 OB 会の底力を見た気がする。そして両校ともバレーボール部が 60 年も続き、今も

毎年定期戦を行い、交流がもたれていることに並々ならぬ喜びを感じている。最近、私自信は校務ゆえ大分ご無沙汰しているが、卒業したばかりのOB諸君には是非、OB会での交流を大切にしたい。また、OB会から足が遠ざかっている諸先輩方にも、現役選手や若手OBを叱咤激励する意味で是非ご参加頂きたい。

最後になるが、この60周年記念OB会を開くにあたり、連絡や受付などを一手に引き受けてくれた勝井君を始めとする若手OB諸君に感謝の意を表したい。こうやってバレー部の伝統は守られていくのだと思うと、これもまた喜びを禁じ得ない。

#### \* 定期戦報告 (文責: H14卒 勝井政博)

今年の定期戦は麻布にて行われました。昨年2連覇を達成し、これからはどこまで連勝記録を伸ばせるかという点に焦点を当てて麻布に挑みました。

中学戦は1セット目、共にサーブがよかった。終盤にはボールにくらいついて繋ぐ姿勢が見られた点が非常によかったが、麻布の方がバランス・スパイク力で優れており、ブロックとレシーブで応戦するも及ばず、結果としては20-25でとられてしまいました。2セット目は途中声が出なくなりましたが、麻布が途中控え選手を出してミスが出た際にこちらが声を出すことで流れを呼び戻し、得意のサーブで攻め、追いつかれることなく一気に25-18でものにしました。3セット目は2セット目の流れをそのままに、サーブで崩し、乱れたところで相手のエースをブロックするという理想的な展開で連続得点をし、25-21で勝利を収めました。

超OB戦は、一時は人数的に開催すら危ぶまれていたものの、増田先輩の呼びかけなどもあり、例年の倍近い人数が集まりました。神波先輩や土岐先輩といった若手の超OBの参加もあり、今年こそはという期待のもとに試合に臨みました。1セット目、巧みなプレーが冴えわたり、実に数年ぶりにセットを奪いました。続く2セット目は麻布の強烈なサーブに攻められてサービスエースを奪われてしまい、大きく離された形でセットを落としてしまいました。続く運命の3セット目、序盤またしても麻布の強烈なサーブに攻められて大きく離されるも、老獪なテクニックでのナイスレシーブ、そしてエース増田先輩の強烈なスパイクで猛追をみせました。終盤に麻布が射程圏内に入った場面で神波さんの豪快なブロック、しかしそれは惜しくも9人制特有のオーバーネットを取られてしまいました。最後は麻布に振り切られ、十数年ぶりの超OB戦勝利は惜しくも果たすことが出来ませんでした。

今年も若手OBは幅広い年代で集まり、ゆとりと盛り上がりを持って試合に臨みました。1セット目、攻撃としてこちらが攻めるものの、アウトになるなどでなかなか波に乗りきることはできませんでした。しかし、麻布側に決め手がなく、常にこちらが攻めているのでスパイクの打数も増え、体が温まってきたのか綺麗に決まる本数が増えて中盤から抜け出し、セットを取りました。2セット目は温存していた松尾さんを中心に攻めようということになり、序盤からボールを集めました。フェイントや大きく弾くスパイクを巧みに使い分けて点を取り、チームは勢いづきました。ブロックで相手エースを抑えることは出来ませんでした、要所でクイックで点を取って常に主導権を握り、今年も危なげなく勝利することができました。

高校戦は、高三まで残った人数がに比べて少なく、全体として若いチームでの試合となりました。今年の麻布がここ数年の中では強かったのもありますが、点数を離すことが出来ず、点数が欲しい場面でやや決定力が足りないという印象を抱きました。この試合以降はチームとしての武器がなにであるかを考え、それを



鍛えていくことが強くなる鍵といえるでしょう。結果としてはストレートで麻布を倒しましたが、まだまだ発展途上のチームであり、今後の頑張りに期待といった感じでした。この結果を受けて定期戦三連覇を達成することが出来ました。

その後は場所を移して懇親会、先程まではライバルとして勝利を賭けて戦いましたが、終了のホイッスルの後に戦いが終われば、そこには数10年来の良き友の姿がありました。OBは酒を飲みながら麻布・開成の同期同土現役時代の事を振り返りながら話に花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換、今年の健闘を称え合い来年の再戦を誓いました。

#### 参加OB (敬称略)

安井(s37)、山本・芥川・玉田(s38)、佐藤(s40)、結城・田中(s43)、桑田・小川・山本・浜・長嶺(s45)、柏女(s49)、関(s54)、増田(s59)、横井(s63)、神波・土岐(h4)、松尾・平松(h12)、藤原(h13)、大内・勝井(h14)、遠藤(h16)、浅川(h17)、小泉・梶原(h18)

#### 2. 平成19年度役員人事(案)

役員					
顧問	栗原 弘	先生	幹事長	勝井 政博	(H14 卒)
	奥山 茂樹	先生	副幹事長	増田 修久	(S59 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史	先生		小泉 達彦	(H18 卒)
	伊藤 清一	先生	会計幹事	熊谷 達範	(S54 卒)
相談役	吉村 功	(S26 卒)		関 茂和	(S54 卒)
	進藤 定夫	(S30 卒)	監査幹事	冨部 直希	(S43 卒)
	石束 晃一	(S34 卒)	総務幹事	宮 利政	(H9 卒)
	安井 高明	(S37 卒)		大内 隆成	(H14 卒)
	山本 純一	(S38 卒)		森 禎三郎	(H16 卒)
	佐藤 勇	(S40 卒)		小林 祐樹	(H16 卒)
会長	結城 教仁	(S43 卒)		浅川 洋貴	(H17 卒)
会長代行	田中 俊一	(S43 卒)		梶原 啓	(H18 卒)
副会長	片野 昭秀	(S44 卒)	HP 管理幹事	末續 信博	(H18 卒)
	矢澤 俊彦	(S48 卒)	OBチーム主将	小泉 達彦	(H18 卒)
	市村 幹司郎	(S50 卒)	高校コーチ	米内 紘正	(H18 卒)
	関 茂和	(S54 卒)		小泉 達彦	(H18 卒)
			中学コーチ	大橋 尚史	(H18 卒)
				金田 涼佑	(H19 卒)
				李 尚憲	(H19 卒)
				小川 信介	(H18 卒)

年度幹事

24年～27年	吉村 功 (26卒)	48年	矢澤 俊彦	H4年	神波 泰夫
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	49年	高塚 義弘	H5年	古野 徳一
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	50年	松下 和正	H6年	鈴木 大輔
34年	石束 晃一	51年	上野 雅資	H7年	依田 秀則
35年	平松 久和	52年	老川 功明	H8年	鈴木 周
36年	三崎 哲郎	53年	野口 恭司	H9年	宮 利政
37年	安井 高明	54年	関 茂和	H10年	川原 希彦
38年	山本 純一	55年	高浪 孝勝	H11年	楓 淳一郎
39年	鈴木 康之	56年	鈴木 章弘	H12年	川原 尊徳
40年	佐藤 勇	58年	藤森 光章	H13年	丸崎 玲
41年	西山 祐二	59年	清水 誠一	H14年	勝井 政博
42年	片野 清昭	60年	草野 昌行	H15年	丹野 敬大
43年	結城 教仁	61年	津野 泰明	H16年	森 禎三郎
44年	片野 昭秀	62年	奈村 太久馬	H17年	浅川 洋貴
45年	小川 宗男	63年	和知 敏樹	H18年	梶原 啓
46年	西村 隆	H1年	小木曾和宏	H19年	金田 涼佑
47年	松田 信彦	H2年	和里田 聰		

3.会計報告

平成18年度 収支報告書  
平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥746,000
現役強化費	¥60,000	受取利息	¥8,461
通信費	¥68,881	寄付金	¥30,000
荒川区大会参加費	¥18,800	創部60周年祝賀会剰余金	¥40,395
麻布定期戦費	¥29,229		
文房具費	¥22,315		
事務費(アルバイト代)	¥23,000		
慶弔費	-		
幹事会費	¥6,960		
送金手数料	¥6,000		
会報名簿発行費	¥92,389		
小計	¥447,574	小計	¥824,856
次年度繰越金	¥3,458,238	前年度繰越金	¥3,080,956
合計	¥3,905,812	合計	¥3,905,812

会計幹事 熊谷 達範(昭和54年卒)  
関 茂和(昭和54年卒)  
監査 富部 直希(昭和43年卒)

平成19年度 予算  
平成19年4月1日～平成20年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	年会費	¥500,000
現役強化費	¥100,000	受取利息	¥8,000
コーチ交通費補助費	¥80,000		
通信費	¥80,000		
荒川区大会参加費	¥30,000		
麻布定期戦費	¥30,000		
文房具費	¥20,000		
事務費(アルバイト代)	¥20,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
送金手数料	¥6,000		
小計	¥501,000	小計	¥508,000
次年度繰越金	¥3,465,238	前年度繰越金	¥3,458,238
合計	¥3,966,238	合計	¥3,966,238

麻布開成祝賀会収支報告  
平成19(2006)年11月18日

支 出		収 入	
項目	金額	項目	金額
会場費(九段会館支払)	¥476,175	会費	¥516,000
麻布近藤先生奥様御見舞、宅急便代等	¥24,245	寄付	¥30,000
ポロシャツ代	¥104,975	ポロシャツ 販売費	¥19,000
		剰余金	¥40,395
		(平成19年度予算に繰入)	
支出計	¥605,395	収入計	¥605,395

4.開成クラブ戦績(文責:開成クラブ主将 荒田雄人)

2006年の4月から、開成クラブのキャプテンを前任のひとつ上の小林さんから任され、このたび2007年4月でその任をひとつ下の小泉君に引き継ぎました。私がキャプテンの間に荒川区の大会に2度出たので、その結果を活動報告とさせていただきます。

・荒川区第59回春季大会

2006年4月2日に、私がキャプテンとして初めての試合に臨みました。メンバーは私と、同期の浅川、



ひとつ上の先輩の小林さんと森さんと遠藤さん、ひとつ下の梶原君と末續君の7人で望みました。

前回大会の結果から、開成クラブは2部での試合に臨み(荒川区は現在1部と2部のみ)、第一試合はバッキンズ、第二試合は排友会との対戦となりました。

結果

開成クラブ 対 バッキンズ 2-0

開成クラブ 対 排友会 2-0

結果は上記のように、2連勝で1部昇格を決めました。バッキンズも排友会も、2人程度のスパイクの強い選手以外は特に恐れる点もなく、荒川区は1部であれば非常に強いチームもありますが、2部ではそれほどでもないため、余裕を持って勝つことができました。

#### ・荒川区第60回秋季大会

同年9月3日に、今度は1部の試合に出場しました。メンバーは私と、同期の浅川、ひとつ上の小林さん・森さん・久保田さん・山口さん、3つ上の勝井さんの7人で望みました。

このときは1部ということで相手も強く、また2連敗してしまうと2部に降格してしまうという状況で、第1試合が荒和会、第2試合がユースセブentakローズとの試合となりました。

結果

開成クラブ 対 荒和会 2-1

開成クラブ 対 ユースセブentakローズ 1-2

上記のような結果となり、1勝1敗で1部残留が決まりました。荒和会は年齢こそ若くはありませんがみな身長が高く、強豪でしたが接戦の末何とか勝利することができました。ユースセブentakローズは年齢も若く、みな技術の高い強豪で、接戦には持ち込みましたが惜敗してしまいました。決勝まで進むことはできませんでしたが、内容的には満足のいく試合となりました。

試合以外にも、親睦会やキャプテン会議、審判講習会などに参加し、荒川区での活動を継続することができました。至らない点が多く、多くの方に迷惑をおかけしたと思います。お詫びとともに、新たにキャプテンを引き継いでくれた小泉君を暖かく応援していただけたらと思います。1年間ありがとうございました。

#### 5. 開成中学戦績 (報告: 中学コーチ 小川信介)

私が前任の荒田さんから中学コーチを引き受けたのは、中3(当時。現高1)が高校の練習に参加するようになる夏休みからでした。当時の中2は中3が都大会連続出場を果たしていることもあり、その「実績」をどのように受け止めているか練習態度から判断することができず、一抹の不安を感じることもありました。ただ、臆しているというわけではないですが、中2のキャプテン、豊原に関してはプレーの面でも、特にメンタルの面でもチームを引っ張っていく気迫を感じることができたので、私が不在時にチームを安心して任せることができ、良い信頼関係が築けたと思っています。

中学生と決めた目標は2つ、「尾久八幡中に勝つこと」と「都大会出場」でした。

・ 8月3日～8日 夏合宿

この合宿のテーマとして、まず私自身まだ付き合いの浅い中学生の特性を掴むこと、そして中1も含めたチーム力の全体的な底上げでした。OBが3人しかいなくてOBにとっても苦しい合宿となりましたが、どんなに酷な練習を要求しても中学生はいつにも増して集中して取り組んでいて、いい雰囲気合宿を終えることができました。

・ 8月12日 私学大会

第一試合 対高輪中 19-25 15-25

結果：一回戦敗退

この大会は中3が中学の試合に出られる最後の試合でしたが、中3は春の都大会で実質引退という気分になっていて、中3、中2のセッター（中3は明石、中2は安部）やライトのスーパーエース（川竹）が欠席するなどメンバーがそろわず、当然のように一回戦で負けてしまいました。

またこの日は土曜日で、大会の重要性があまり高くないこともあり、私は練習の方を見に行っていました。試合内容は中3のキャプテンから聞いたもので、とりあえず目も当てられない内容だったそうです。

・ 8月25日 シード権大会

第一試合 対諏訪台中 12-25

第二試合 対尾久八幡中 9-25

第三試合 対荒川一中 17-25

第四試合 対荒川七中 25-8

第五試合 対諏訪台中 9-25

第六試合 対尾久八幡中 21-25

第七試合 対荒川一中 25-18

第八試合 対荒川七中 25-17

結果：荒川区5チーム中4位（3勝5敗）

この大会が、中3が高校に上がって初めて中2主体でチームを組み、そして私がコーチとなって実質初めての試合となりました。私小川が新高ということもあり、荒川区の中学生のレベルを知らなかったのも、その（諏訪台中と尾久八幡中の）レベルの高さに驚いた一日でもありました。当時のチームに関しては、とにかくレシーブが安定せず、攻撃もできず負けてしまうパターンが大半で、これからの練習の方向性を決める上でも収穫の多い大会でもありました。

ただこの時期は、夏合宿後の練習でレフトのレギュラー（米内）が靭帯断裂の怪我を負い、ベストメンバーを組めない点でも、重要な決断を強いられている時期でもありました。

・ 9月23日 文化祭 対麻布中

第一セット 24-26

第二セット 15-25



第三セット 15-25

第四セット 25-22

第五セット 25-20(中1)

結果：1勝3敗(中2)、1勝(中1)

10 得点差をひっくり返されたり、一度もリードすることなくセットを取られたり、試合中盤以降の集中力のなさはこのチームの永遠の課題となりました。チャンスカット然り、特にサーブカット力に麻布と歴然の差を感じました。全敗しなかったということだけが、この日の唯一のポジティブなことと言っても過言ではありませんでした。

#### ・10月8日 新人戦区大会

第一試合 対荒川七中 25-10 25-23

第二試合 対諏訪台中 8-25 4-25

第三試合 対荒川一中 23-25 19-25

結果：荒川区5チーム中4位(注・トーナメント制 第三試合は敗者復活戦)

レギュラーメンバー2人(米内、斜木)を怪我で欠き、台所事情の厳しい開成にとっては我慢の時期でした。諏訪台中にほぼサーブで連続19得点を取られるなど改善すべき点はわかっている、なかなか効果的な練習を見出せず、私にも反省するべき点は多くあったと思います。ただ荒田さん(前中学コーチ)から「中学コーチは辛抱が大切だ」といわれていたもので、中1も含め中学生には基本的なことを辛抱強く教えていこうと考えていました。

#### ・10月21日 ブロック大会

(大会要綱：4チームリーグで2位以内入れば都大会出場決定。3位になると、ほかのリーグの3位と総当たりリーグを行い1位になったチームのみ都大会出場が許される。)

第一試合 対淵江中 22-25 14-25

第二試合 対忍岡中 20-25 22-25

第三試合 対新田中 20-25-21-25

結果：4チーム中4位(3敗)

セッター(安部)の不調が全体に響いた格好となりました。惜しいが負けるというなんとも後味の悪い結果となってしまい、この大会に照準を合わせてコンディション作りをできなかったことを悔やみました。結果は残念なものでしたが、レフト米内の夏からの長期離脱により、その代わりとしてレフトレギュラーを張っていた鈴木に使える目処が立った、と感じたのはこの時期でした。

#### ・1月13日 足立・荒川区一年生大会

第一試合 対諏訪台中 5-25 0-25

第二試合 対尾久八幡中 10-25 18-25

第三試合 対東綾瀬中 17-25 15-25

第四試合 対新田中 20-25 15-25

結果：5チーム中5位

一年生の大会なので、あまり重要視はしていませんでしたが、結果は決して軽視すべきものではありませんでした。特に他の学校の中1と比べ、サーブカット力、サーブ力に差を感じたので、この大会以後、中1に関しては徹底的にレシーブとサーブの強化に力を入れました。

・1月28日 東京男子バレーボールブロック別技術研修会

第一試合 対日大豊山中 25-18

第二試合 対貝塚中 25-27

第三試合 対深川第二 25-16

第四試合 対緑丘中 24-26

第五試合 対深川第二中 25-13

第六試合 対糀谷中 25-18

結果：優勝（4勝2敗）

足立・荒川区と他区とのレベルの違いを切実に感じた日でした。それ以上に、この研修会は中学生にも私自身にも自身を与えてくれたような気がします。

・2月11日 ブロック大会シード権争い（準公式戦）

第一試合 対諏訪台中 8-25 13-25

第二試合 対尾久八幡中 19-25 22-25

第三試合 対荒川一中 21-25 15-25

第四試合 対荒川七中 25-10 25-16

結果：荒川区5チーム中3位（荒川一中は人数不足で中3が試合に出たため開成は繰り上げ）

確実にチーム力は向上していると思えました。チームが出来たばかりのころは手も足も出なかった尾久八幡中でしたが、「勝てない相手ではない」と確信できるような場面が何度もありました。ただ、まだ一セット通した集中力や、一度リードを許すとそのままズルズル後手に回ってしまうなどの「試合慣れ」という観点での課題は山ほど残っているように感じました。

・2月18日 六校リーグ（慶応義塾中は棄権のため5校）

第一試合 対学習院中 25-21 25-20

第二試合 対暁星中 29-27 23-25 17-25

第三試合 対芝中 25-7 25-20

第四試合 対麻布中 20-25 20-25

結果：5チーム中3位（2勝2敗）

暁星にフルセットまで喰らいついた点は非常に評価できました。攻撃パターンの乏しさ（センター線の攻撃がほとんどない）やアタックレシーブの際のポジショニングなど技術的な細かい課題を見つけるにはちょ

うどいいレベルの大会でした。また、中学生も勝利には個人の成長が不可欠だと自覚し始めたようで、とりあえず（麻布定期戦での）「打倒麻布」を短期的な目標に掲げ、春合宿での課題克服に向けて良い動機付けになったと思います。

#### ・ 3月27日～31日 春合宿

非常に満足できるものでした。サーブカットやサーブなど基礎的なことだけでなく、ブロックやスパイクのコンビ、レシーブの動き方など中1、中2ともに確かに成長しているのを実感できる合宿となりました。これは、大勢応援に来てくれたOBのおかげでもあり、また、その期待に応えようという中学生の熱心な練習態度によるものでもあると感じることができ、とても嬉しかったのを覚えています。

#### ・ 4月8日 麻布定期戦

対麻布中 No Data

結果：（1セット目は取られるが、2、3セット目を取りフルセットでの逆転）勝利

私は欠席で、その勝利をこの目で見るのができなかつたのが残念でなりませんでした。この試合では、キャプテン豊原のサーブで崩し、センターエースの斜木がブロックで相手の強力センター線の攻撃をシャットアウトという形が型にはまったらしく、正直負けたと思われた試合を大逆転でモノにしたそうです。4月下旬に控える都大会予選（ブロック大会）に向けて素直に喜んでいいものであり、大変良いはずみになったと思います。

#### ・ 4月22日 荒川区春季大会

第一試合 対尾久八幡中 11-25 17-25

第二試合 対諏訪台中 12-25 13-25

第三試合 対荒川七中 25-10 25-16

結果：荒川区4チーム中3位

次週に控えた都大会予選に向けての準備運動という雰囲気か否めない大会でした。何よりこの時期困っていたのが麻布定期戦後の練習で続出した怪我人の方で、中3（注・新学期になったため学年が一つ上がっています）のほぼ半分の5人が試合に出られない（さらに試合中に1人怪我をする）という有り様でした。ただ、大怪我での長期離脱者がいないというのが不幸中の幸いでした。

#### ・ 4月29日 ブロック大会1日目（春の都大会予選）

（大会要綱：4チームリーグで2位以内入れば都大会出場が自動的に決定。）

第一試合 対蒲原中 25-22 13-25 25-18

第二試合 対足立九中 15-25 13-25

第三試合 対足立十四中 15-25 25-18 25-13

結果：4チーム中2位。（2勝1敗）見事、都大会出場決定！！

全員で掴んだ会心の勝利でした。これまでの練習風景が走馬灯のように浮かぶほど嬉しく、私にとっても



(おそらく中学生にとっても) 2007年になって最も嬉しい出来事となりました。「運動会負けてもいいや」と言う中学生(セッター安部)もいるほどで、本戦でどれだけ足掻けるかそれこそ未知数ですが、バレーボールを楽しむこと(できれば一回戦突破)、を目標にこれからも中学生と頑張っていこうと思います。

また、この大会では怪我で出場のできなかったレギュラーリベロ(伊達)の穴を、中二のセッター候補生(岡田)が見事埋めてみせるなどこれまた嬉しい発見もあり、まさに「充実の春」でした。

#### ・5月19日 春の都大会

第一試合 対小松川中 10-25 15-25

結果:一回戦敗退。東京都ベスト64。

中3にとっては去年に続いての、私にとっては初めての都大会はほろ苦いものとなりました。相手はうちと同様スパイクを得意とするチームで、正直5分5分かと思った戦前の予想も虚しく、全く実力を出せないまま大会を去ることになりました。

この大会では、定期戦で開成に敗れた麻布がなんとベスト8まで勝ち進み、開成はライバル(?)の活躍を横目に、次の、一年間の集大成となる夏の都大会に照準を絞ってさらに練習を重ねるしかありませんでした。

#### ・7月1日 区大会

第一試合 対尾久八幡中 25-20 20-25 22-25

第二試合 対朝鮮中 25-4 25-6

第三試合 対荒川七中 25-15 25-10

結果:5チーム中3位

一試合目はこれまで打倒尾久八幡中を目指してきただけあって、全員のテンションも高く、見ていてとても楽しい試合でした。この試合では生徒たちの成長をはっきりこの目で確認することができて、中学コーチを受け持ってきてよかったな、と私自身実感する試合でもありました。負けていい、などと考えたことはありませんが、真剣に、何より楽しそうにバレーをやっている生徒たちの姿を見ることができて、結果以上に満足した大会でした。

#### ・7月7日 ブロック大会1日目(夏の都大会予選)

(大会要綱:4チームリーグで2位以内入れば都大会出場が自動的に決定。)

第一試合 対忍ヶ丘中 19-25 25-15 25-23

第二試合 対加賀中 25-8 15-25 25-13

第三試合 対足立九中 21-25 14-25

結果:4チーム中2位。(2勝1敗)見事、都大会出場決定!!

一試合目は私がこの一年間見てきた中で最も白熱した試合展開でした。忍ヶ丘中との実力はほぼ互角。一セット目は序盤に差が開きすぎ、終盤の猛攻も実らず取られてしまいどうなるかと思いましたが、二セット目を逆の立場で取り一気に勢いに乗った開成にはこの日大事な場面でツキも回ってきて、三セット目を21-23

からの4連続ポイントの大逆転で勝利し、都大会出場を確実にしました。格下の加賀中に不覚にも1セット献上するといういつもの「ご愛嬌」もありましたが、この日嬉しかったのは、いつもは相手に点差を開かれるとそのままズルズル負けてしまうのが開成の最大の弱点でしたが、特に第一試合の三セット目に見られたような「粘り強さ」が身に付いてきているように感じられたことでした。また、強豪足立九中にも善戦することができ、生徒たちには自信も漲ってきているように思いました。

#### ・7月22日 夏の都大会

第一試合 対芝中 25-18 25-18

第二試合 対サルジオ中 13-25 10-25

結果：第二試合敗退。東京都ベスト32。

前回の都大会では無駄に緊張してしまい不甲斐ない戦いに終始してしまいましたが、今大会では会場にしっかり開成の実力を示すことができました。もっとうできた、こうすれば、など言いたいことは山ほどありますが、都でベスト32。胸を張っていい成績だと思います。あまり練習に行けなかった時期もあったり、ときには理不尽なほど走らせることもあったりしましたが、中3はキャプテン豊原を中心に本当によくまとまっていたと思います。祝福と、私自身この一年で成長させてもらったことへの感謝の意をここに記したいと思います。おめでとう！そして、ありがとうございました！

#### 6.開成高校戦績（報告：高校コーチ 梶原 啓）

##### ・6月1日 インハイ予選

第一試合 拓大一高 11-25、11-25 で負け

第二試合 葛飾野 25-16、25-11 で勝ち

コーチに就任して初めての試合でした。運動会と中間試験、旅行の後でなかなか練習できずに臨んだ試合で、結果は予選敗退でした。新チームは2年生が4人の1年生が2人という布陣で臨んだのですが、やはり中学時代からの試合経験のなさから内容は淡白なものでラリーにも持ち込めず、苦いスタートとなりました。

##### ・8月21日 高校私学大会

第一試合 東農大一高 8-25、16-25 で負け

合宿では徹底して基礎練習をこなし、時期的に夏の練習の成果をためす意味もあった試合でしたが、やはりあえなく初戦で散りました。本来下級生をひっぱっていくべき上級生にもミスが目立ち、このあたりからチーム構成自体の変更を考えざるをえなくなりました。

##### ・10月1日 支部優勝大会

第一試合 海城 24-26 25-22、25-18 で勝ち

第二試合 中大杉並 22-25、22-25 で負け

ここでも予選で敗退してしまいました。高校生を集めて試合後ミーティングを行いました。2年生キャプテンセッターの島が運動会のため次の新人戦で引退するとのことだったため、1年生ライトの溝口をセッターに据えることを提案しました。しかし2年生の希望で新人戦までは島もスタメンに入る形で出場することになりました。

・11月13日 新人戦

第一試合 安田学園 13-25 7-25 で負け

第二試合 日体荏原 25-15 25-9 で勝ち

安田学園は例年であれば全国大会を狙うような強豪なのですが、今年は都でベスト32にも入れるかどうかといった出来でした。そのためチャンスではあったわけですが、結局自滅する形で負けてしまいました。ここで当初から引退予定だった島に加え、加登が引退し、2年生は高橋と北岡の二人となりました。

・12月23日 五校リーグ

第一試合 上野 18-25 25-22 23-25 で負け

第二試合 日比谷 25-7 25-9 で勝ち

第三試合 小石川 25-17 25-16 で勝ち

第四試合 麻布 16-25 19-25 で負け

五チーム中三位

公式戦ではないため中学3年生を交えての試合でした。特に藤井、川竹は中学時代から高い身体能力を示していたため、期待されていた通り、未完成ながら期待させるプレーを見せてくれました。しかし二人とも怪我のため途中で抜けてしまい、最後は麻布に足元をすくわれてしまいました。上級生がしっかりとチームの基礎をなしていくことがこれからの課題であるように思われました。

・1月28日 私学大会

第一試合 豊島学院 26-28、29-31 で負け

第二試合 攻玉社 25-7、25-16 で勝ち

新セッターの溝口のトスがわれてしまい、なかなか思うようにプレーができませんでした。春合宿に向けて溝口がチームの成長のキーマンとなるのがはっきり見えました。ここで北岡が引退し、結局3年生まで続けるのは高橋一人となってしまいました。

・4月30日 関東大会予選

第一試合 東工大科技 25-6 25-17 で勝ち

第二試合 小山台 19-25 15-25 で負け

高橋の引退試合になりました。3年生が高橋、2年生が溝口、松山、仲沢、佐藤(松山と仲沢と佐藤は高校編入組)、1年生が藤井、川竹という3学年混合チームで望みました。春合宿から間違いなくチームとして成長し、やっとバレーボールができるレベルに達したといえたと思います。3枚エースのうち二人が1年



生、セッターの経験が少なかったことなどから小山台には実力で競り負けてしまいました。しかし次の年度、さらにはその次の年度のチームの未来形を垣間見ることが出来たのが収穫だったと思います。

以上です。僕としては最後の試合を勝たせることができなくて残念です、そして周りの3年生が次々と辞めていく中、諦めずに最後まで続けてくれた高橋に拍手を送りたいと思いました。今年の経験を糧にして次の年度の開成が活躍してくれることに期待したいと思います。

## 7.近況報告（敬称略）

- ・持病の腰痛と循環器の故障をなだめながら元気をモットーに心おきなく過ごしています。出野先輩が同期の方数人と練習していた創部の頃が思い出されます。以来60年感慨無量です。引き継がれてきた方々に感謝と、今後の益々の発展を期待しています。(26 近藤)
- ・走っても孫に負けるのが現実。とてもバレーは無理です。若い諸君で頑張ってください。(30 宗近)
- ・今年は遂に古希を迎えることになりました。同級生は悠々と自適な生活を楽しんでいます、しばらくは現役を続けなければなりません。(31 加藤)
- ・いまだ電気工事業の現場にて設計・管理業務を担当しています。バレーに限らずスポーツは見る側になってしまいました。(31 田村)
- ・昨年6月をもって永らく勤めていた会社を退任しました。現在は後輩の会社の手伝いをしています。(35 中島)
- ・創部60周年おめでとうございます。18年5月から開成学園の法律顧問弁護士を始めさせていただいております。(36 小田木)
- ・読書、ゴルフ、旅行などで過ごしています。最近は月2回位映画をみています。(37 上田)
- ・家の建替えて仮住まい中です。元に戻れるのは今年6月頃になりそうです。(38 芥川)
- ・九州にもう少しおります。皆様の活躍をお祈り申し上げます。(39 鈴木)
- ・今年60歳になりますが、もう少しサラリーマンを続けます。(41 西山)
- ・開成を卒業後、慶應大、富士銀行とバレーボールに何らかの形で携わってきました。特に富士銀行時代は同期の一橋卒の鶴沢さんと一緒にインターバンク戦を整え、中村博次先生をお招きして良き指導を頂きました。その後みずほフィナンシャルグループ統合の忙しさの中ですっかりバレーからは離れてしまい体力の衰えを感じています。現在はバレーで鍛えた基礎体力だけに頼ったゴルフから脱却すべく開成時代に戻った気持ちでゴルフスクールに通っています。(43 金森)
- ・昨年3月に東芝を退職して4月から前川製作所に勤務しています。片道2時間の通勤をする毎日にもようやく慣れてきたなと感じています。久々の研究所勤務を楽しんでいます。(45 山本)
- ・昨年7月に会社を替わり(JSAT)バタバタしております。(46 上野)
- ・警備会社に移り4年が過ぎました。セキュリティーに関しての相談はなんなりと。(46 稲垣)
- ・関西工場に単身赴任中です。(46 大江)
- ・3つ目の職業である大学教員生活も13年目となりもっとも長くなっています。元気でやっています。(46 柏女)
- ・2003年11月に大阪に本社のあるダイキン工業に転職いたしました。単身赴任も丸3年になります。(47 勝)

田)

- ・最近トミに歳を感じます。だましだましなんとかやっております。(48 矢澤)
- ・LS460の先進安全技術、愛知万博のi-Unit、IMTSなど新しい制御システムの開発をやっています。また、名古屋では結城さん、松原さんと時々飲んでます。(49 井上)
- ・50才になり身体の不調が続いております。ただいまぎっくり腰をわずらいスポーツどころではなくなっていました。(50 杉山)
- ・昨春、夫婦で市村を尋ねシンガポールに行ってきました。(50 松下)
- ・JSR(株)エマルジョン事業部に相変わらず勤務しております。(55 花田)
- ・金沢支店よりH18 4/1～京都自動車営業部へ転勤しました。転勤だけは全国区です。(60 高橋)
- ・現在、京都にあります京セラという会社に勤務しております。なかなか顔を出せず、申し訳ありません。今回も残念ながら、東京まで足を運ぶ事は難しそうです。どうか、OB会の皆様に宜しくお伝えください。(62 松山)
- ・現在プリンストン大学で統計学を教えています。今年の1月には2人目が生まれている予定です。こっちの学会でやっていくのもなかなか大変ですが、なんとかやっています。8月には3週間ほど帰国する予定です。またバレー部で集まるのもいいですね。(H6 今井)
- ・小児科・新生児科医として頑張っています。(H8 矢代)
- ・学校という職場でバレーと国語の指導に没頭する毎日です。(H9 宮)
- ・社会人4年目となりました。システムエンジニアとして業務アプリケーションの開発に携わっています。毎日終電という忙しさですが、充実しています。(H10 石井)
- ・先日はロサンゼルスマラソンに出場し、無事完走したとのことでした。仕事は相変わらずかなり忙しいようですが、プライベートもそれなりに楽しんでいるようです。(H10 川原 お母様より)
- ・跡見学園に奉職し3年目を迎えました。この4月から、高体連女子部常任委員として働いています。(H11 楓)
- ・さいたま市立病院にて2年間研修することになりました。(H11 石岡)
- ・日本郵船に入社して2年が経ちました。たまに会社のチームでバレーをしています。(H13 中川)
- ・フランスより帰国しました。現在就職活動中です。(H13 丸崎)
- ・慶應の医学部バレー部でバレーボールを続けています。(H16 森)
- ・東北大に進学することになりました。(H18 末續)
- ・慶應大学総合政策学部に進学することになりました。一人暮らしも始めました。(H19 西川)
- ・京都大学文学部に合格しました。(H19 内尾)
- ・東京大学文科2類に合格しました。(H19 田島)
- ・京都大学に進学が決まりました。定期戦の時期には京都にいるので今年は何えませんが、来年以降都合が合えば参加させていただきます。(H19 土屋)
- ・新しい生活を楽しく送っています。(H19 李)
- ・浪人することになりました。(H19 山田)



## 8. 会費納入のお願い

現役の支援および会員の交流を柱とする OB 会の運営は OB 諸兄の会費で成り立っています。最近の現役の好成績も OB の皆様の陰ながらのご支援があつてのことと思われまふ。年会費は社会人 4,000 円、学生 3,000 円です。5 年分として 20,000 円まとめて納入頂けると幸いです。平成 19 年度の会費が納入済みの方には納入状況をお知らせする紙を同封しております。平成 19 年度の会費が未納の方には振込用紙を同封しております。郵便局、銀行どちらからでも振り込みができますが、郵便局にて振り込みの場合、手数料はかかりません (OB 会負担)。納入いただいた会費を過去未納入分の会費に充当することはしていません。今年度分より納入、として計算しています。なお会費納入にもかかわらず、振込用紙同封の行き違いがありましたらご容赦願ひます。

振込先： 郵便局  
あるいは  
みずほ銀行稲荷町支店 (店舗番号 090)

口座番号：00100-0-50926  
口座名：開成学園排球部 OB 会

口座番号：普通 1041691  
口座名：開成学園排球部 OB 会

### \*住所・メールアドレス・勤め先等の変更の際のお願い並びに連絡不能者の情報提供のお願い

最近、OB 会でもメールにての連絡を心がけております。メールアドレスをお持ちの方で葉書ではなく、メールにての連絡でもよいという方は、ご面倒ではございますが、

勝井 政博 (H14)

の方までご連絡ください。今後、メールにての連絡に変更させていただきます。また、昨年名簿の改訂を行いました。その名簿で自分の連絡先に誤りがないか確認していただき、もし間違いがありましたら上記のアドレスまでご連絡ください。また現在管理しております名簿中の連絡不能者のリストを次ページに作成いたしました。このなかでお心当たりのある方は連絡先等をご連絡くださいますよう、よろしく願ひいたします。

### \*開成バレー部 OB の新 HP

このたび、H18 卒の末續君が新しく開成バレー部 OB のホームページを作ってくれました。まだ出来たばかりですが、新 HP では練習日程・試合日程を以前より見やすくし、試合結果についても専用のコーナーを作っています。また掲示板も新設しましたので情報交換の場は以前の掲示板から移行しますのでお気を付けください。旧掲示板にも新 HP のアドレスを記載してありますのでそちらからもリンクでとんでいただけます。またコーチの紹介なども入れ、年配の先輩方に現在の開成バレー部の状況を少しでも感じていただければと思っております。



卒業年	氏名(敬称略)
30	石村 寛
31	菅原 理之
32	播磨 宣昌
34	澤田 富雄
35	戸張 勝介
36	増田 邦彦
36	谷川 進
38	須田 誠一
44	丹野 広蔵
47	三宅 浩之
49	村山 哲
52	小松 雅人
53	鎬木 孝昭
53	末永 道郎
55	深津 範寿
55	三輪 高明
58	鈴木 信幸
59	松本 弘

60	石井 俊之
61	石森 明
61	小杉 健
61	土田 智一
62	花島 佳章
62	常深 泰司
63	横井 宏治
63	増田 真幸
63	田中 泰三
63	高草 誠
63	内田 大介
63	川口 佐実恵留
H1	小木曾和宏
H1	向後 淳
H2	松川 広乗
H2	和里田 聰
H2	藤沼 剛
H2	岩男 理敏
H2	片田 久
H2	筒井 康二

H4	大沢 秀樹
H4	川村 朋哉
H4	後藤 正
H4	林 和典
H5	木本 直宏
H6	大田 英揮
H6	鈴木 大輔
H6	田端 伸之
H6	松浦 恭祐
H8	伊藤 俊平
H8	谷口 信人
H10	佐藤 巧
H10	吉野 理
H11	鶴澤 祐介
H12	堀内 直樹
H15	山本 渉

OB会費卒業年次別納入状況

( )物故者

平成19年3月末現在

卒業年次	会員数	平成19年3月末現在														
		H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
昭和24年卒	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和25年卒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和26年卒	5	5	5	5	5	4	4	4	3	4	4	4	4	1	0	0
昭和27年卒	4(1)	4	4	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和28年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和29年卒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和30年卒	9(1)	6	6	6	6	4	5	5	5	4	3	3	3	1	0	0
昭和31年卒	6(1)	5	5	5	5	4	4	4	4	3	1	1	1	0	0	0
昭和32年卒	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和33年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和34年卒	5	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
昭和35年卒	6	4	5	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	1	0	0
昭和36年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0	0
昭和37年卒	4	3	3	3	3	3	3	3	1	3	2	2	2	2	0	0
昭和38年卒	8	5	5	3	5	5	5	5	4	5	5	4	4	3	0	0
昭和39年卒	8	3	4	3	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1
昭和40年卒	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和41年卒	4	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和42年卒	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
昭和43年卒	12	7	6	4	5	5	5	6	7	7	7	5	4	1	0	0
昭和44年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0
昭和45年卒	8	5	6	6	6	5	6	6	6	7	7	5	3	1	0	0
昭和46年卒	12	6	6	4	3	2	3	5	3	3	3	3	1	1	0	0
昭和47年卒	11	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0

昭和48年卒	4	2	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	2	1	0	0
昭和49年卒	19	15	16	9	13	13	12	17	15	11	10	6	5	3	0	0
昭和50年卒	7	4	3	3	4	4	4	4	3	4	3	2	2	0	0	0
昭和51年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0
昭和52年卒	7	4	4	4	3	3	3	2	3	3	1	1	1	0	0	0
昭和53年卒	10	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0
昭和54年卒	8	8	7	3	3	4	4	5	7	5	4	2	2	1	0	0
昭和55年卒	12	4	5	6	5	5	5	5	4	5	5	4	3	3	1	1
昭和56年卒	6(1)	6	5	5	4	2	4	3	2	3	2	1	1	0	0	0
昭和57年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和58年卒	9(1)	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0
昭和59年卒	8	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	0	0	0
昭和60年卒	7	5	5	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和61年卒	10	4	4	4	3	3	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和62年卒	6	3	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和63年卒	10	4	4	4	4	4	2	3	2	3	3	2	1	1	0	0
平成1年卒	6	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
平成2年卒	12	3	2	0	0	1	1	1	2	2	1	1	1	0	0	0
平成3年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成4年卒	8	2	3	3	3	4	5	3	3	3	1	0	0	0	0	0
平成5年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0
平成6年卒	14	14	4	3	2	3	4	5	5	5	5	3	2	1	1	0
平成7年卒	9	9	9	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0
平成8年卒	11	11	11	11	2	2	3	3	3	2	2	1	1	1	1	0
平成9年卒	13	13	13	13	13	4	4	4	5	5	2	1	1	0	0	0
平成10年卒	13	13	13	13	13	13	2	2	2	3	3	1	1	1	0	0
平成11年卒	9	0	9	9	9	9	9	2	2	2	2	2	0	0	0	0
平成12年卒	11	0	0	11	11	11	11	11	1	2	2	2	2	1	0	0
平成13年卒	11	0	0	0	11	11	11	11	11	3	2	2	2	2	0	0
平成14年卒	9	0	0	0	0	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0
平成15年卒	12	0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	0	0	0	0	0
平成16年卒	5		0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	0	0	0	0
平成17年卒	3			0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0
平成18年卒	7				0	0	0	0	0	5	5	5	5	5	0	0
平成19年卒	9				0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	0
合計	387	199	199	172	176	169	170	174	151	150	127	92	74	43	10	2

1

1

開成学園排球部OB会 会報26号

発行 平成19年9月

発行者 開成学園排球部OB会

作成・編集

関(54卒)、宮(H8卒)、勝井(H14卒)、荒田(H17卒)、  
小川(H18卒)、梶原(H18卒)